

日本雑草学会第53回大会プログラム

会期：平成26年 3月28日（金） 評議員会、若手の会

3月29日（土） 一般講演、ポスター発表、ミニシンポジウム、総会、
日本雑草学会賞授賞式、受賞者講演、懇親会

3月30日（日） 一般講演、ポスター発表

会場：法政大学小金井キャンパス（〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2）

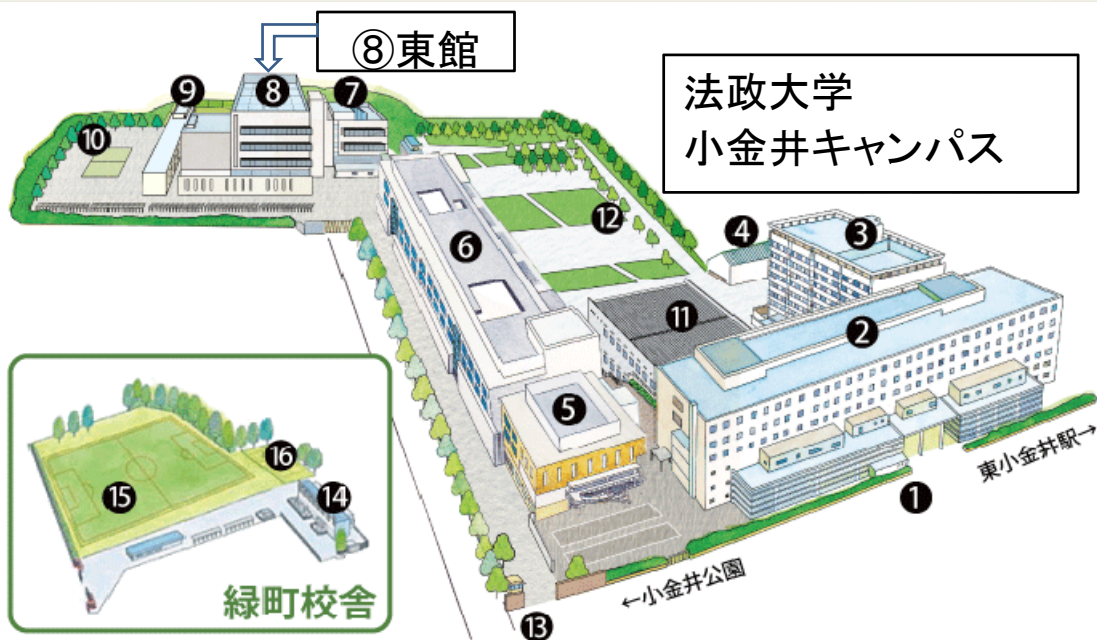
JR中央線 東小金井駅北口下車、

1) 徒歩約15分

2)【バス】京王バス東01系統「関野橋循環」に乗車約5分、「法政大学」下車

3)【バス】京王バス小02系統「武蔵小金井北口」に乗車約5分、「法政大学」下車

4)【バス】Cocoバス（小金井市コミュニティーバス）「北東部循環」に乗車約5分、「法政大学」下車



3月28日(金)

13:00～17:00 評議員会 E208号室

15:30～18:00 若手の会 E207号室

3月29日(土)

9:45～11:15 ミニシンポジウム A会場(E201号室)、B会場(E202号室)、C会場(E208号室)

11:30～12:30 一般講演 A会場(E201号室)、B会場(E202号室)、C会場(E208号室)

12:30～13:30 各種委員会

13:30～14:30 ポスター発表(奇数番) ポスター会場(講堂前)

14:45～16:00 総会 S会場(講堂)

16:00～16:20 学会賞授賞式 S会場(講堂)

業績賞 受賞者：内野 彰 ((独)農研機構 中央農業総合研究センター)
業績名：水田雑草におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性の分子機構の解明に関する研究

技術賞 受賞者：牛口良夫・岡本憲一・高橋勝弘・池田芳治・佐柳和典 (協友アグリ(株))
業績名：水稲用除草剤ピラクロニルの開発と普及

奨励賞 受賞者：松嶋賢一 ((独)国際農林水産業研究センター)
業績名：水田畦畔におけるオオバコの個体群維持要因に関する研究

論文賞

雑草研究 受賞者：田場聡・安次富厚・島袋由乃・與那覇美沙・高良綾乃・永松ゆきこ・諸見里善一
論文名：植物寄生性線虫類に対するアワユキセンダングサ煮沸抽出液の抗線虫活性と抽出液の活性安定性

WBM 受賞者：Hisami Kobayashi, Shunji Kurokawa and Kentaro Ikeda
論文名：Dairyland populations of bur cucumber (*Sicyos angulatus*) as a possible seed source for riverbank population along the Abukuma River, Japan.

16:20～16:25 感謝状授与 S会場(講堂)

東日本大震災以降の雑草研究活動を通じた被災地復興支援に対する感謝状

大川茂範(宮城県古川農試) 津波被災農地における雑草管理に関する研究活動

小林浩幸((独)農研機構) 放射性物質に汚染された農地における雑草管理に関する研究活動

16:30～17:30 受賞者講演 S会場(講堂)

業績賞 講演者：内野 彰 座長：富永 達

技術賞 講演者：牛口良夫 座長：高橋宏和

奨励賞 講演者：松嶋賢一 座長：浅井元朗

17:45～19:30 懇親会 東館生協食堂

3月30日(日)

9:15～10:15 ポスター発表(偶数番) ポスター会場(講堂前)

10:30～12:30 一般講演 A会場(E201号室)、B会場(E202号室)、C会場(E208号室)

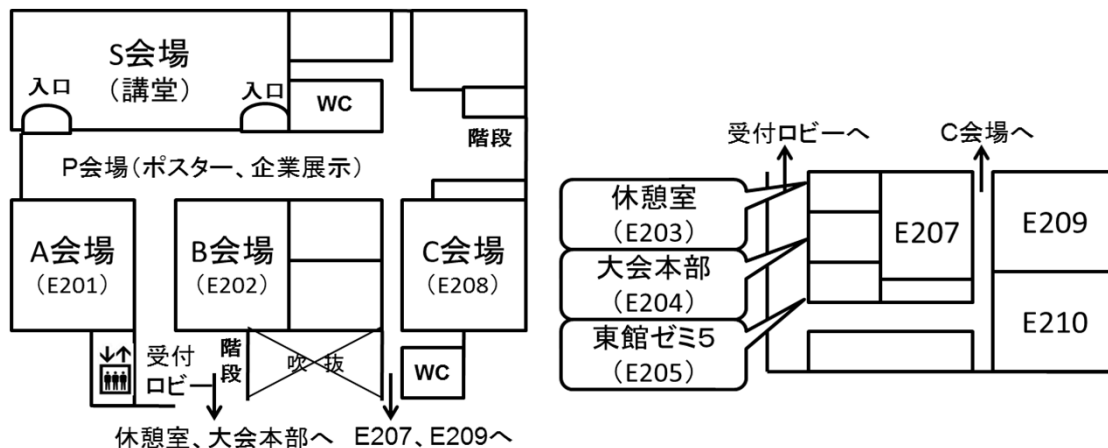
12:30～13:30 各種委員会

13:30～15:30 一般講演 A会場(E201号室)、B会場(E202号室)、C会場(E208号室)

第53回大会プログラム(概要版)

3月29日(土)	時間	A会場(E201)	B会場(E202)	C会場(E208)	ポスター会場(講堂前)	
	8:30~	受 付				
	9:45~	ミニシンポ1	ミニシンポ2	ミニシンポ3	ポスター掲示	
		雑草における雑種形成をめぐる諸課題その2	アレチウリを例とした外来雑草の面的管理システム構築の可能性 -スケールごとのリスクマップと管理体制-	雑草学における技術士の薦め		
	11:15~	休憩(15分)				
	11:30~	一般講演	一般講演	一般講演	ポスター公開	
		除草剤(4題)	畑雑草、変異(4題)	被災地関連(4題)		
	12:30~	昼休み(1時間) 各種委員会				
	13:30~	閉場				コアタイム(奇数番)
	14:30~	休憩(15分)				ポスター公開
14:45~	S会場(講堂) 総会					
16:00~ 17:30終了	S会場(講堂) 学会賞授賞式、感謝状授与、受賞者講演					

3月30日(日)	時間	A会場(E201)	B会場(E202)	C会場(E208)	ポスター会場(講堂前)	
	8:30~	受 付				
	9:15~	閉場				コアタイム(偶数番)
	10:15~	休憩(15分)				ポスター公開
	10:30~	一般講演	一般講演	一般講演		
		水田雑草 除草剤抵抗性 有機栽培(8題)	畑雑草 帰化雑草(8題)	アレロパシー(8題)		
	12:30~	昼休み(1時間) 各種委員会				
	13:30~	一般講演	一般講演	一般講演	ポスター公開	
		麦作雑草 除草剤抵抗性 有機栽培、その他(7題)	畑雑草 帰化雑草 草地・畦畔管理(7題)	アレロパシー 海外情報 研究方法(8題)		
	15:30終了	閉場				ポスター撤去



本会場案内図(生命科学部東館2階)

ミニシンポジウム・一般講演プログラム(詳細版)

※ 著者が連名である場合は発表者に○を付しています。

※ 講演番号の下に*が付された発表は、ベスト講演賞の選考対象(若手による発表)です。

3月29日(土)									
受付									
A会場(E201)		B会場(E202)		C会場(E208)					
8:30									
9:45	ミニシンポジウム1 「雑草における雑種形成をめぐる諸課題 その2」 オーガナイザー: 富永 達(京都大学) 講演: 中山祐一郎(大阪府大)「オオバコとハクサンオオバコの種間交雑の機会」		ミニシンポジウム2 「アレチウリを例とした外来雑草の面的管理システム構築の可能性—スケールごとのリスクマップと管理体制—」 オーガナイザー: 黒川俊二(中央農研)・西田智子(農環研)・浅井元朗(中央農研) 講演: 黒川俊二(中央農研)「侵入・分布拡大メカニズムとそれに応じた管理体制の必要性」 大澤剛士(農環研)「地理スケールごとの管理段階に対応できるリスクマップの作成」		ミニシンポジウム3 「雑草学における技術士の薦め」 オーガナイザー: 濱本 宏(法政大学)・富永達(京都大学) 講演: 浅井元朗(中央農研)「雑草研究と技術士」 濱本 宏(法政大学)「法政大学応用植物科学科における技術士教育」 大島研郎(東京大学)「技術士試験制度と試験対策」				
休憩(15分)									
11:15	A会場(E201)		座長	B会場(E202)		座長			
11:30	1*	グリホサートカリウム塩 48% 液剤の水田刈跡処理によるクログワイ塊茎の産生抑制および発芽抑制効果 ○宮崎隆雄・斉藤直樹・矢野哲彦・藤山正康(日産化学工業(株))	平瀬寒月(三井化学)	20	地域性種苗の供給範囲を考える～在来草本10種の葉緑体DNA多型分析～ ○津田その子・藤井義晴(東京農工大学)	三浦励一(京都大学)	39*	東日本大震災の津波跡地に出現したミズアオイはどこから来たか ○長鶴彩加・板野 愛・汪 光熙・横内 茂(名城大)・鈴木まほろ(岩手県博)・黒沢高秀(福島大)	嶺田拓也(農工研)
11:45	2*	新規水稲用除草剤メタゾスルフロンに関する研究-3(コウキヤガラシズイの地上部および地下部を与える影響) ○石松 純・宮崎 隆雄・矢野 哲彦(日産化学工業株式会社)		21	次世代シーケンサーを用いたヘアリーベッチ若葉で発現する遺伝子群の網羅的解析 ○和佐野直也・山口智広・水谷哲也・大松勉・片山幸枝・藤井義晴(農工大)		40*	宮城県の津波被災農地の復旧過程に伴う雑草植生の変化とコウキヤガラ発生リスクマップの精度検証 ○大川茂範・北川蒼紘(宮城県古川農試)・浅井元朗(中央農研)	
12:00	3*	オイカルボンと類縁化合物の作用性比較とオイカルボン処理により変動するイネタンパク質の解析 ○藤村香里・春原由香里(筑波大)・小松節子((独)作物研)・藤井義晴(農工大)・松本宏(筑波大)		22	エノコログサにおける形態の変異 海岸集団と内陸集団の比較 ○伊藤松雄(四国学院大・社)・中嶋佳貴・沖陽子(岡山大・環境生命科学研究所)		41*	放射性物質の除染後農地における雑草発生状況およびカバークロップによる雑草抑制効果の検証 ○好野奈美子・小林浩幸・高橋義彦(農研機構東北農研)	
12:15	4*	クミンから発生する揮発性物質クミンアルデヒドの生育抑制活性と活性酸素発生の検討 ○中野香・春原由香里・松山茂・松本宏(筑波大学・生命環境)		23	エノコログサにおける耐塩性の変異 海岸集団と内陸集団の比較 ○伊藤松雄(四国学院大・社)・中嶋佳貴・沖陽子(岡山大・環境生命科学研究所)		42	福島第1原発事故から1年を経た放射能汚染農地における雑草によるファイトレメディエーションに関する基礎研究 ○山下 純・榎本 敬・山田 雅夫・小野 俊朗・花房 直志・永松 知洋・園田 昌司・山本 洋子(岡山大)	
昼休み(1時間) 各種委員会									
13:30 ポスター発表(奇数番コアタイム 1時間)									
14:30 休憩(15分)									
14:45	S会場(講堂) 総会								
16:00	S会場(講堂) 学会賞授賞式、感謝状授与、受賞者講演								
17:30	1日目終了								

3月30日(日) 午前

8:30 受付								
9:15 ポスター発表(偶数番コアタイム 1時間)								
10:15 休憩(15分)								
A会場(E201)		座長	B会場(E202)		座長	C会場(E208)	座長	
10:30	5 *	宮城県の水稲作圃場におけるALS阻害剤交差抵抗性イヌホタルイの発生実態 ○北川誉純・大川茂範(宮城県古川農試)	今泉智通(中央農研)	24 *	海岸に生育するドクムギ属の繁殖特性と遺伝構造 ○樋口裕美子・下野嘉子・新實由貴・富永達(京大)	43 *	アカマツ落葉に含まれる生長抑制物質の単離と同定 ○木村菫子・佐藤正資・加藤尚(香川大・農)	松尾光弘(宮崎大学)
10:45	6	北海道の1ha水田圃場におけるイマズスルフロン・ピラクロニル・プロモブチドフロアブル水口施用後の田面水の有効成分濃度の経時的变化と除草効果 徐 錫元・○西原良一・新関幸夫・濱谷雅司・富田享博・竹原奈緒・佐柳和典・山岸政司(協友アグリ)・瀧内千尋・諏佐淑子・瀧澤理恵(エスコ)		25	畑地夏雑草および冬雑草の発生におよぼす耕起時期と施肥深度の影響 露崎浩(秋田県立大)	44 *	アスパラガス根茎のアレロパシー物質の単離、同定および生理活性 ○中村圭佑・奥田延幸・大野修・繁森英幸・加藤尚(香川大学大学院農学研究科・慶応大学理工学部・筑波大学応用生物化学系)	
11:00	7 *	福井県のイネ13品種における種子発芽特性の差異 ○山口のどか・水口亜樹・吉岡俊人(福井県立大学)		26 *	芝地雑草スズメノカタビラの花粉発芽条件の最適化 ○岡崎麻衣子・小笠原勝(宇都宮大学雑草科学研究センター)	45 *	帰化雑草セイヨウヒキヨモギの二次代謝産物と生物活性 森本正則・○石田実希・上窪さやか・松田一彦(近畿大農)	
11:15	8	有機栽培水田の冬期湛水期間におけるコナギ埋土種子の垂直分布の推移 ○月森弘・安達康弘・小塚雅弘・道上伸宏・山崎智美(島根農技センター)		27	麦収穫後の麦わら焼却がスズメノテッポウ種子死滅に及ぼす影響 ○大隈光善・古賀巧樹・山口晃・半田浩二(植調協会福岡試験地)	46	筑波実験植物園で採取した190種の植物のアレロパシー活性のサンドイッチ法による検定 ○藤井義晴・李振豪・山口千尋・Elena Kazantseva・Hossein Mardani・吉成美嘉・Nurdi Setyawan・安田嶺・田村尚幸(農工大)・岩科司(筑波実験植物園)	
11:30	9	宮城県名取市の大区画圃場で実施した乾田直播栽培におけるイヌビエの残草 ○中山壮一・大谷隆二・関矢博幸・冠秀昭・齋藤秀文(農研機構)	橘雅明(近畿中国四国農研)	28 *	筑後地域の大豆圃場で発生するヒロハフウリンホオズギの生育と種子生産 ○半田浩二・大隈光善・山口晃・古賀巧樹(植調福岡試験地)	47	アレロパシーの検索とアレロケミカル候補物質の単離におけるサンドイッチ法と全活性法の意義と寄与率の評価によるアレロケミカルの確定 藤井義晴(農工大)	加藤尚(香川大学)
11:45	10	水稲生育後半における土壌水分低下がタイヌビエの出穂および結実に及ぼす影響 ○三浦恒子・高橋良知・進藤勇人(秋田農試)		29 *	オオキンケイギク駆除技術の検討(3)ー窒素資材および除草時期の組合せの検討ー ○飯田拓生・松本裕史(鳥取大学大学院連合農学研究科)・古田川慎也・佐藤律司・國本哉智(国土交通省岡山河川事務所)・西原英治(鳥取大学農学部)	48 *	ヘアリーベッチ前作によるハッシュウマメの生育促進機構の解析 ○岡崎伸・飯塚真貴・元坤・及川洋征・木村園子・ドロテア・藤井義晴(農工大)	
12:00	11 *	イトミミズ類の排泄物が堆積した有機栽培水田における雑草埋土種子の垂直分布と雑草発生との関係 ○安達康弘・月森弘・小塚雅弘・道上伸宏(島根農技センター)		30 *	ハクサンオオバコとオオバコの雑種形成の要因3. 一般化線形混合モデルを用いた開花習性の記述 ○佐野沙樹・中山祐一郎(大阪府大)・大東健太郎(農環研)・野上達也(石川県白山自然保護センター)・柳生敦志(石川県立金沢商業高等学校)	49	アワユキセンダングサ煮沸抽出液を活用したマツ材線虫病(松枯病)の防除の可能性 ○田場 聡1・足利浩一郎2・安次富厚3・島袋由乃4・諸見里善一1(1琉大農学部・2沖縄中卸市・3沖縄防技セ・4沖縄農研セ名護)	
12:15	12 *	寒冷地有機水田における非作付け期間の土壌水分の差異が稲わら分解と雑草発生におよぼす影響 ○三木孝昭・阿部大介・岩石真嗣(自然農法センター)		31	沖縄本島南部地域のヒイラギヤブガラシ群落における開花・結実の季節的消長 ○與儀喜代政(沖縄県農林水産部)・高江洲賢文(沖縄県農研セ)	50 *	アワユキセンダングサと線虫捕捉菌の簡易混合製剤を用いたサツマイモネコブセンチュウの防除に関する研究 田場 聡1・○安次富厚2・島袋由乃3・諸見里善一1(1琉大農・2沖縄防技セ・3沖縄農研セ名護)	
					大段秀記(九州沖縄農研)			
					保田謙太郎(秋田県立大学)			

3月30日(日) 午後

昼休み(1時間) 各種委員会

A会場(E201)		座長	B会場(E202)		座長	C会場(E208)		座長	
13:30	13 *	静岡県内の水田地域におけるグリホサート抵抗性ネズミギの分布状況 ○市原 実(静岡農林研)・新實由貴(京都大農)・下野嘉子(京都大農)・富永 達(京都大農)・神谷径明(静岡農林研)・山下雅幸(静岡大農)・澤田 均(静岡大農)	小林浩幸(東北農研)	32	帰化アサガオ類における同一果実中種子間での出芽の違い 徐 錫元(協友アグリ)	水口亜樹(福井県立大学)	51 *	Allelopathic activity of <i>Cymbopogon nardus</i> root extract ○Suwitchayanon Prapaijit and Hisashi Kato-Noguchi (Department of Applied Biological Science, Faculty of Agriculture, Kagawa University)	森本正則(近畿大学)
13:45	14	埼玉県のコムギ作におけるヤグルマギクの耕種的管理と各種除草剤の防除効果 ○関口孝司(埼玉農総研)・浅井元朗(中央農研)		33	要防除期間の指標となる草高/条間比の大豆品種間での汎用性 ○黒川俊二(中央農研)・羽鹿牧太(作物研)・澁谷知子(中央農研)		52 *	Isolation of Allelopathic Substances from <i>Hyptis suaveolens</i> ○A K M Mominul Islam and Hisashi Kato-Noguchi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)	
14:00	15	長野県のムギ作におけるヤグルマギクに対する播種期移動, 夏期圃場湛水管理, 除草剤による防除効果 ○青木政晴(長野農試)・浅井元朗(中央農研)・金久保秀輝(植調研究所)・酒井長雄(長野農試)		34 *	宮城県のダイズ栽培における帰化アサガオへの各種除草剤の効果の検討 ○三上綾子・安藤慎一郎・石橋まゆ(宮城古川農試)		53 *	Evaluation of allelopathic activity of Iranian medicinal plants by dish-pack method and analysis of volatile chemicals by GC-MS ○Hossein Mardani(Tokyo University of Agriculture and Technology), Majid Azizi(Ferdwosi University of Mashhad), Asma Osivand(Ferdwosi University of Mashhad), Yoshiharu Fujii(Tokyo University of Agriculture and Technology)	
14:15	16	アメリカフウロの発芽条件と暖地ムギ作圃場での出芽の特徴 ○大段秀記・住吉正・小荒井晃(農研機構九州沖縄農業研究センター)		35	ハーブ類植物の土壌へのすき込みが後の雑草発生に及ぼす影響 ○松尾光弘・坂本祥昌・湯浅高志(宮崎大院農)		54 *	Evaluation of allelopathic activity of Iranian Medicinal plants by Sandwich method ○Hossein Mardani(Tokyo University of Agriculture and Technology), Majid Azizi(Ferdwosi University of Mashhad), Asma Osivand(Ferdwosi University of Mashhad), Yoshiharu Fujii(Tokyo University of Agriculture and Technology)	
14:30	17	山梨県のムギ作圃場におけるクジラグサの発生状況と各種除草剤の防除効果 ○上野直也・石井利幸(山梨総農セ)		36	チガヤ型草地におけるセイタカアワダチソウの侵入について ○根本正之・安部真生・山田晋(東京大学大学院農学生命科学研究科)		55	アレロパシー検定のための新たな生物検定法の開発:花粉を用いた発芽試験法の開発 ○服部真幸1,2・及川洋征2・藤井義晴2(1県央研究所, 2東京農工大)	
14:45	18	有機ダイズ栽培下の小麦リレー間作による雑草害制御 ○岩石真嗣・石綿薫・千嶋英明((公財)自然農法国際研究開発センター)	37 *	どの群落型から外来植物オオキンケイギクを管理すべきか:管理放棄後の個体群推移から考える ○斎藤達也(信大農(現・農工大農))・大窪久美子(信大農)・高田壮則(北大環)	西田智子(農環研)	56	ガーナ共和国のサバンナ低湿地帯稲作圃場の土壌からの雑草とイネの出芽に及ぼす土壌水分の影響 ○森田弘彦(秋田県立大)・内野彰(中央農研)・Fuseini Abraham (SARI, Ghana)・Fulera Tahiru (SARI, Ghana)・坂上潤一(国際農研, 現鹿児島大)	中山祐一郎(大阪府立大学)	
15:00	19 *	エンマコオロギによる雑草種子の被食散布 ○黒川和輝・山下雅幸・澤田均(静岡大・農)・市原実(静岡農林研)	38	芝生畦畔における群落高の推移 ○伏見昭秀・橘 雅明(近畿中国四国農業研究センター)		57	インド・グジャラート州カッチ地方の一農村における土地利用・農業・植生 ○三浦励一(京都大学)・千葉 一(東北学院大学)・寺村裕史(日文研)		
15:15	閉 場				58 *	観察研究における因果推定:生態学, 雑草学分野での利用について 大東健太郎(農環研)			
15:30	2日目終了								

ポスター発表 演題・発表者(説明者)一覧

※ 発表者(説明者)が連名である場合は発表者に○を付しています。

※ ポスター番号の下に*が付された発表は、ベストポスター賞の選考対象(若手による発表)です。

奇数番コアタイム 3月29日(土) 13:30~14:30		偶数番コアタイム 3月30日(日) 9:15~10:15	
P01 *	長野県上伊那地域におけるアレチウリの分布とRCヘリによる画像分類 ○武久聖・渡邊修・斎藤仁志・近藤大将・加藤正人(信大農)	P02 *	上高地における外来植物の分布と固定カーネル法による密度解析 ○松本壮平・渡邊修(信大農)
P03 *	日本に分布するチガヤの葉緑体DNAにおける種内変異 ○野村康之・下野嘉子・富永達(京都大)	P04 *	静岡県中西部の半自然草地における外来草種の侵入状況 ○丹野夕輝(岐阜大・院・連農, 静岡大・農)・山下雅幸・澤田 均(静岡大・農)
P05	水田における農法の違いが雑草の種構成に及ぼす影響ー福岡県平野部での事例ー ○松尾光弘(宮崎大農)・坂本祥昌・山中佳樹(宮崎大院農)・酒井泰良・米澤亮(宮崎大農)・山口修(福岡農総試筑後分場)	P06 *	日本産ススキの遺伝的多様性 ○早川宗志(農環研)・赤坂舞子(中央農研)・下野嘉子(京大農)・黒川俊二(中央農研)・池田浩明・西田智子(農環研)
P07	埼玉県荒川流域におけるヒメホテイソウ(<i>Heteranthera reniformis</i>)の侵入・定着(予報) ○嶺田拓也(農研機構・農村工学研究所)	P08	Weed flora in the flood plain of the Amur River in Khabarovsk OK. Akai (Faculty of Biotechnology, Fukui Prefectural Univ.), M.V.Kryukova, L.A. Antonova (Institute of Water and Ecological Problems, FEB RAS), A. Vorobyeva (Amur Branch of Botanical Garden-Institute of FEB RAS)
P09	アレチウリの出芽反応と被覆資材による抑制効果 渡邊修・○伊藤茜(信大農)	P10	マルバルコウ多発圃場における発生と埋土種子数の推定 渡邊修・○大橋一允・太田耶子(信大農)・青木政晴(長野県農試)
P11 *	輸入小麦に混入したカラスムギ(<i>Avena fatua</i> L.)の形態と開花特性における集団間変異 ○山本理(京都大)・下野嘉子(京都大)・小沼明弘((独)農環研)・富永達(京都大)	P12 *	穀物輸入港周辺に生育する由来の異なるドクムギ属の生活史特性の比較 松嶋伸幸(京都大農)
P13 *	代かき時期の違いが水田雑草コナギの発生動態に及ぼす影響 ○河原路子・伊藤一幸・庄司浩一(神戸大・農)	P14 *	ライグラス類における移入集団と逸出集団間の遺伝子流動の制限要因 ○関根さゆり・下野綾子(筑波大学)・下野嘉子(京都大学)・大澤良(筑波大学)
P15 *	コナギ埋土種子におけるトランスクリプトームの季節変動と休眠サイクルの関係 今泉智通(中央農研)	P16 *	ヒロハフウリンホオズキの発生とその要因に関する2, 3の観察 ○山中佳樹・松尾光弘・湯淺高志(宮崎大院農)
P17	ススキ(<i>Miscanthus sinensis</i>)の開花期を制御する要因の解明 1. 異なる地域系統の開花特性 ○西田智子(農環研)・水口亜樹(福井県立大)・茶園真理子(福井県立大)・早川宗志(農環研)・西脇亜也(宮崎大)・山田敏彦(北海道大)	P18 *	ススキ(<i>Miscanthus sinensis</i>)の開花期を制御する要因の解明 2. 標高が異なる個体群の開花特性 ○水口亜樹・茶園真理子(福井県大)・西田智子・早川宗志(農環研)・西脇亜也(宮崎大)・山田敏彦(北海道大)
P19 *	ダイズ野生種ツルマメの種子生産性に及ぼす播種密度の影響 ○青木大輔1・水口亜樹1・有井彩2・高本圭2・Duška Stojšin3・Michael J. Horak3・Marc A. McPherson3・中井秀一2(1福井県立大学, 2日本モンサント株式会社, 3Monsanto Company)	P20	実体顕微鏡を用いたヒユ科雑草種子の3次元形状観察と計測 ○小林浩幸・内田智子・好野奈美子(農研機構東北農業研究センター)
P21 *	オオバコ属雑草3種における個体群密度と相対光強度および土壌硬度との関係 ○鞠子典子・小泉 博(早大・教育)	P22 *	塩田跡地に自生するヨシの適応戦略に関する基礎研究 ○増田孝宏・中嶋佳貴・沖陽子(岡山大・環境生命科学研究所)
P23 *	エノコログサの海岸集団および内陸集団における施肥反応 ○中嶋佳貴・沖陽子・三成哲也(岡山大・環境生命科学研究所)・伊藤松雄(四国学院大・社)	P24	オオバコとヘラオオバコの種子散布と実生の定着 ○鞠子 茂(法政大・社会)・鞠子典子(早大・教育)
P25 *	チガヤ根茎に含まれるアレロパシー物質の単離 ○鈴木将彦1・富永達2・加藤尚1(1香川大・農, 2京都大・農)	P26 *	キウイフルーツの葉に含まれる生長抑制物質の探索 ○岡田峻・片岡郁雄・加藤尚(香川大農)
P27 *	Seed volatile compounds of <i>Heracleum</i> sp. may act as allelopathic agents ○Mishyna Maryia and Fujii Yoshiharu (Tokyo University of Agriculture and Technology)	P28	日本で採集した雑草263種のアレロパシー活性のサンドイッチ法による検定 ○服部真幸1,3・稲垣栄洋2・藤井義晴3(1県央研究所, 2静岡大, 2農工大)
P29	水生雑草に影響を与えるランタナ(<i>Lantana camara</i> L.)のアレロパシー物質の探索 田中美涼・○森本正則*・石田実希*・伊藤一幸(神戸大農、*近畿大農)	P30 *	Evaluation of allelopathic activity of 178 Caucasian plants by Sandwich method ○Hossein Mardani(Tokyo University of Agriculture and Technology), Elena Kazantseva(Moscow State University), Vladimir Onipchenko(Moscow State University), Yoshiharu Fujii(Tokyo University of Agriculture and Technology)

奇数番コアタイム 3月29日(土) 13:30~14:30	
P31 *	農業用排水路におけるシュロガヤツリ植栽筏を用いた水質浄化方法の検討 ○西川 天平・沖 陽子・中嶋 佳貴(岡山大学大学院 環境生命科学研究所)
P33	水稲有機栽培水田における土壌極表層の物理性(水中沈定容積)とコナギ生育との関係 ○野副卓人・白石昭彦・内野 彰・三浦重典(中央農研)
P35	水稲刈り跡への塩素酸ナトリウム粒剤処理がオモダカの塊茎形成に及ぼす影響 須藤 健一(日本植物調節剤研究協会 兵庫試験地)
P37	鉄コーティング直播栽培における除草剤の薬害に及ぼす播種後水管理の影響 川名義明(農研機構・東北農研)
P39	帰化アサガオ類に対するベンタゾン液剤の2回処理による防除効果と発生年限に関する調査 ○住吉正・大段秀記・小荒井晃(農研機構・九州沖縄農研)
P41	播種前短期湛水と播種法が大豆生育期の雑草発生および埋土種子の動態に及ぼす影響 ○中谷敬子・澁谷知子・大下泰生(中央農研)
P43 *	宮城県におけるグリホサートカリウム塩液剤の収穫前散布が 雑草防除およびダイズの収量・品質に与える影響の確認 ○石橋まゆ・安藤慎一朗・三上綾子(宮城古川農試)
P45	特定外来生物オオキンケイギクの防除対策 ○江崎次夫・河野修一(愛媛大農)・全 謹雨(江原大林)
P47 *	水田畦畔におけるグリホサート抵抗性ネズミギの代替除草剤の選抜 ○市原 実(静岡農林研)・石田義樹(静岡県西部農林事務所)・神谷径明(静岡農林研)・山下雅幸(静岡大農)・澤田 均(静岡大農)
P49	Physiological mechanisms of thifensulfuron-methyl resistance in <i>Alopecurus aequalis</i> Jianyang Wang・Yukari Sunohara・○Hiroshi Matsumoto(University of Tsukuba, Life and Environment Sciences)
P51	除草剤の連年施用試験における残留性評価 第2報 グリホサート平均年間残留率からの残留濃度予測 ○中村直紀・奥野潤一・川田文子・村岡哲郎・横山昌雄(植調協会)

偶数番コアタイム 3月30日(日) 9:15~10:15	
P32 *	カバープランツ栽培による放射性物質の土壌除染と野菜吸収抑制の検討 ○堀越龍二・杉田恒介・清水隆・長田敏行・佐野俊夫(法政大生命科学)石井秀樹(福島大うつくしまふくしま未来支援センター)
P34 *	Microcosm investigation on phytoremediation of copper and zinc by using <i>Azolla pinnata</i> and <i>Azolla japonica</i> ○Bich B. T. N.・Y. Oki・Y. Nakashima・Akhtar M. S.・T. Kamigaki (Graduate School of Environmental and Life Science, Okayama University)
P36	除草作業に対する雑草の切れる閾値とガーデニングにおける除草への認識:雑草の福祉活用の視座から ○山口裕文・藤田一成・御手洗洋蔵・宮浦理恵(東京農大)
P38	有機農法での雑草抑制への試み 2. ブラシローラー型水田除草ロボットの開発 ○保田謙太郎・小林由喜也・金田吉弘(秋田県大)・今井淳容(秋田テクノデザイン)
P40	ゴウシュウアリタソウに対する数種土壌くん蒸剤の防除効果 藤沢巧(岩手県北農研)
P42	越冬時の土壌中の位置がクサネムと帰化アサガオ類の硬実種子に及ぼす影響 ○澁谷知子・中谷敬子・黒川俊二(中央農研)
P44 *	ダイズ作圃場におけるアレチウリ防除を目的とした土壌処理剤の検討と効果変動要因の考察 ○安藤慎一朗・三上綾子・石橋まゆ・内海翔太・阿部脩平(宮城古川農試)
P46	スキの導入方法の違いが草地化に及ぼす影響 ○大谷一郎・高橋佳孝・堤道生(近中四農研)
P48 *	5-アミノレブリン酸によるトウモロコシの成育促進効果へのヘムの関与 ○米澤朋起・春原由香里・松本宏(筑波大学)
P50 *	神奈川県におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性イヌホタレイおよびオモダカの解析 ○聖代橋 史佳・久保 深雪・野村 研(神奈川農技セ)